

2025年(令和7年)下期 景気動向調査結果

～景況感は一部で持ち直しがみられるものの

「仕入・原材料価格の上昇」「人件費の増加・人手不足」が継続的な課題～

- 目的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2025年7月1日から2025年12月31日(2025年(令和7年)下期)
- 調査実施期間 : 2026年1月4日から2026年2月3日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・副部長・女性会・青年部・振興委員等 550 事業所
- 回答数 : 回収数 135 (回収率 24.5%)

| 業種 | | 従業員数 | | | | | 合計 |
|------|-------|------|-------|--------|---------|--------|-----|
| | | 0~5人 | 6~20人 | 21~50人 | 51~100人 | 101人以上 | |
| 製造業 | | 4 | 13 | 9 | 2 | 9 | 37 |
| 非製造業 | 建設業 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 15 |
| | 小売業 | 9 | 3 | 1 | 1 | 3 | 17 |
| | 卸売業 | 3 | 4 | 2 | 2 | 2 | 13 |
| | サービス業 | 13 | 9 | 12 | 1 | 9 | 44 |
| | その他業 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 9 |
| 合計 | | 34 | 35 | 31 | 8 | 27 | 135 |

● 概要

【業況】

- ・製造業では、「受注の増加」や「価格転嫁による売上の増加」等を好調要因として、前期のマイナス域から大幅改善。
- ・非製造業全体では、前期比はマイナスとなったものの今期はプラス域の好調傾向を維持。
- ・非製造業のうち卸売業では前期比、今期ともマイナスの厳しい状況。悪化要因として仕入・原材料価格の高騰や景気低迷、需要減退等。

【売上】

- ・製造業、非製造業全体では、価格転嫁の促進や営業強化により改善。
- ・非製造業の業種別では、小売業、卸売業が今期、前期比とも悪化しマイナス域に。建設業も今期はプラス域にとどまるも前期比で大幅に悪化。
- ・悪化の要因は、仕入れ、原材料価格の高騰や物価高による売上減少等。

【採算】

- ・製造業、非製造業全体では改善。
- ・非製造業は、業種により濃淡が鮮明。卸売業、その他業は大幅に悪化。悪化の要因は、燃料費の高騰や人件費の高騰など。

【仕入単価】

- ・製造業、非製造業の今期、来期予想ともマイナスDI値が高く、引続き仕入単価の高騰が続くことが予想されている。

【直面している課題】

- ・製造業では、「仕入・原材料単価の上昇」、「人件費の増加」、「需要の停滞」が上位。
- ・非製造業では、「仕入・原材料単価の上昇」、「人件費の増加」、「燃料費の高騰」が上位。

皆様から寄せられた企業、業界の取組(抜粋)

●製造業

- ・人材確保(外国人雇用含む)
- ・価格転嫁
- ・輸出
- ・クリーンエネルギーの活用
- ・電力省力化

●非製造業

- ・DXの推進
- ・人材確保・育成・定着
- ・価格交渉
- ・事業拡大
- ・オフィスの環境整備

※「DI値」とは

デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

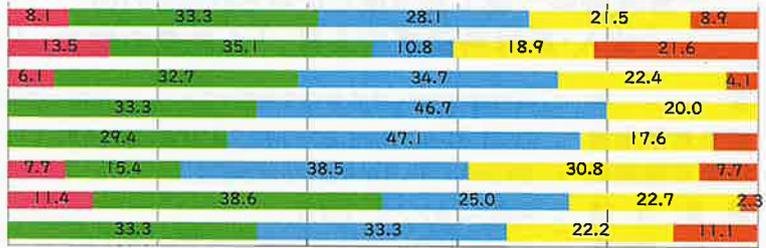
【業況DI値】

今期(2025年7月~12月)のDI値

| 業種 | 今期 | 前期比 |
|-------|-------|-------|
| 全業種 | 11.0 | 5.7 |
| 製造業 | 8.1 | 31.3 |
| 非製造業 | 12.3 | ▲7.3 |
| 建設業 | 13.3 | ▲40.5 |
| 小売業 | 5.9 | 11.8 |
| 卸売業 | ▲15.4 | ▲23.7 |
| サービス業 | 25.0 | 0.0 |
| その他業 | 0.0 | ▲11.1 |

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2025年7月~12月)の状況

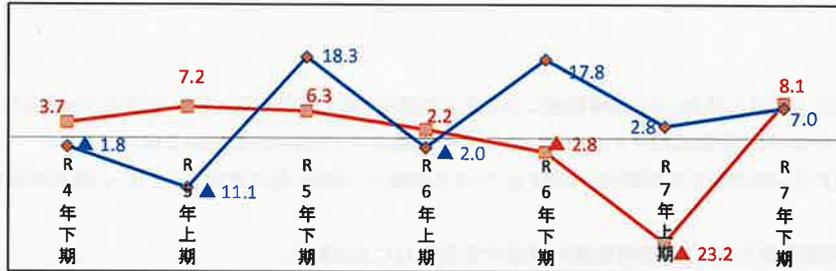
業況DI値は、製造業で8.1(前期比31.3)、非製造業で12.3(前期比▲7.3)、全業種で11.0(前期比5.7)となった。製造業では、前期比、今期ともプラスとなり、「受注の増加」や「価格転嫁による売上の増加」、「輸出の増加」などが好調要因として挙げられた。非製造業では、プラス域にあるものの前期比ではマイナスとなり、特に卸売業では前期比、今期ともマイナスの厳しい状況が伺えた。卸売業の悪化理由として、「仕入価格や原材料価格の高騰」、「需要減退」や「運送費の高騰」などが挙げられた。

※前期比とは、前回調査(令和7年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■今期のDI値
◆前期調査時点での今期見通し



非製造業

■今期のDI値
◆前期調査時点での今期見通し

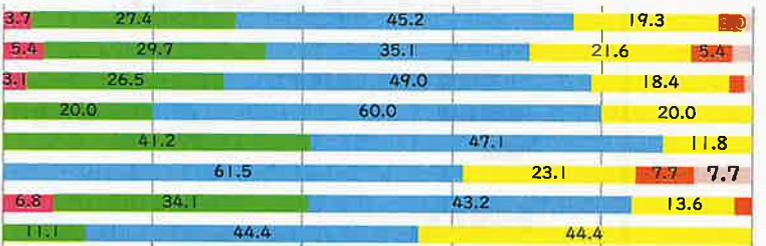


来期(2026年1月~6月)の見通しDI値

| 業種 | 見通し | 今期比 |
|-------|-------|-------|
| 全業種 | 8.8 | ▲2.2 |
| 製造業 | 8.1 | 0.0 |
| 非製造業 | 9.2 | ▲3.1 |
| 建設業 | 0.0 | ▲13.3 |
| 小売業 | 29.4 | 23.5 |
| 卸売業 | ▲30.8 | ▲15.4 |
| サービス業 | 25.0 | 0.0 |
| その他業 | ▲33.3 | ▲33.3 |

(業況)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(2026年1月~6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では改善の8.1、非製造業では3.1ポイント悪化の9.2、全業種で2.2ポイント悪化の8.8と見通している。非製造業では、卸売業とその他業で悪化の見通しとなったものの、製造業、非製造業ともプラスとなり好転する見通しとなった。卸売業とその他業の悪化要因として、「顧客の業績悪化」や「設備投資の鈍化・減少」、「価格競争の激化」などが挙げられた。全体としては、「需要の増加」や「価格転嫁による売上の増加」、「海外事業が好調」などが好転要因として挙げられ、経済活動の活発化が寄与していることが伺えた。

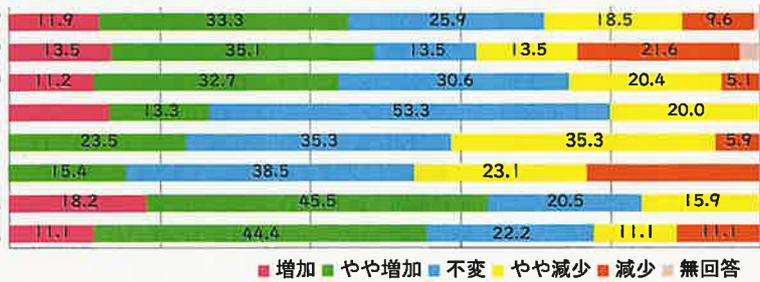
【 売上DI値 】

今期 (2025年7月~12月) のDI値

| | |
|-------|----------------------|
| 全業種 | (今期 17.1 前期比 6.3) |
| 製造業 | (今期 13.5 前期比 22.9) |
| 非製造業 | (今期 18.4 前期比 ▲2.3) |
| 建設業 | (今期 6.6 前期比 ▲31.8) |
| 小売業 | (今期 ▲17.7 前期比 ▲11.8) |
| 卸売業 | (今期 ▲30.8 前期比 ▲47.4) |
| サービス業 | (今期 47.8 前期比 14.5) |
| その他業 | (今期 33.3 前期比 33.3) |

(売上)

(単位:%)



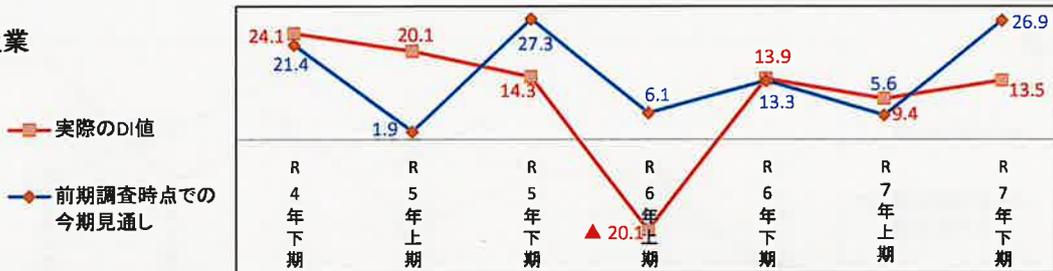
今期 (2025年7月~12月) の状況

売上DI値は、製造業で13.5(前期比22.9)、非製造業で18.4(前期比▲2.3)、全業種で17.1(前期比6.3)となり、製造業、非製造業とも、今期プラスとなり、好転傾向が示された。製造業の好転要因として、「受注量の増加」「価格転嫁」「営業強化、営業努力」などが挙げられた。非製造業では小売業、卸売業で、今期、前期比ともマイナスとなったものの小売業、卸売業を除く全ての業種が今期プラス域(増加、やや増加)で推移した。小売業、卸売業の悪化要因として、「仕入れ、原材料価格の高騰」「需要の減少」や「物価高による売上減少」などが挙げられた。

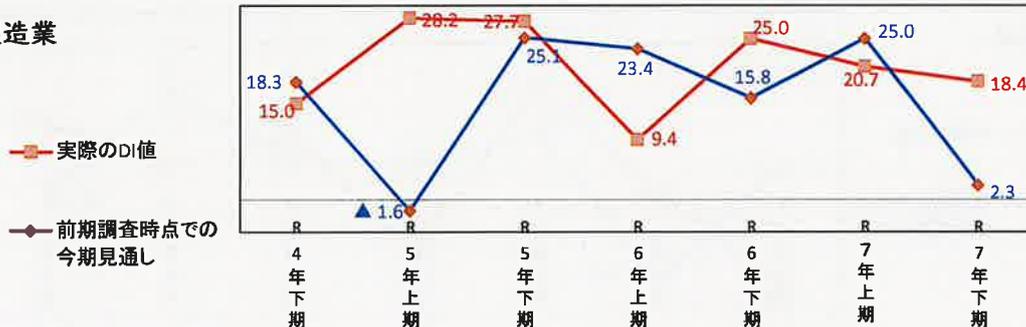
※前期比とは、前回調査(令和7年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業



非製造業



来期 (2026年1月~6月) の見通しDI値

| | |
|-------|-----------------------|
| 全業種 | (見通し 16.3 今期比 ▲0.8) |
| 製造業 | (見通し 0.0 今期比 ▲13.5) |
| 非製造業 | (見通し 22.5 今期比 4.1) |
| 建設業 | (見通し ▲13.3 今期比 ▲19.9) |
| 小売業 | (見通し 29.4 今期比 47.1) |
| 卸売業 | (見通し 23.1 今期比 53.9) |
| サービス業 | (見通し 43.2 今期比 ▲4.6) |
| その他業 | (見通し ▲33.3 今期比 ▲66.6) |

(売上)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期 (2026年1月~6月) の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲13.5ポイント悪化の0.0、非製造業で4.1ポイント改善の22.5、全業種で▲0.8ポイント悪化の16.3と見通している。非製造業のうち、建設業、その他業で「顧客の業績悪化」や「受注減」「生産量の低下」などにより悪化傾向の見通しが示されているが、全体として「新規受注の売上増加」や「価格転嫁」「企業努力」など、今後も売上は回復傾向で推移する見通しとなった。

【 採算DI値 】

今期(2025年7月~12月)のDI値

(採算)

(単位:%)

| 業種 | 今期 | 前期比 | DI値 | DI値 | DI値 | DI値 | DI値 | DI値 |
|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 全業種 | 10.4 | ▲11.0 | 8.9 | 26.7 | 38.5 | 19.3 | 5.9 | |
| 製造業 | 16.2 | ▲23.1 | 10.8 | 35.1 | 21.6 | 13.5 | 16.2 | |
| 非製造業 | 8.3 | ▲6.0 | 8.2 | 23.5 | 44.9 | 21.4 | | |
| 建設業 | 6.7 | ▲14.4 | 6.7 | 20.0 | 53.3 | 20.0 | | |
| 小売業 | 23.5 | ▲29.3 | 29.4 | | 64.7 | | 5.9 | |
| 卸売業 | ▲15.4 | ▲40.4 | 15.4 | | 53.8 | | 23.1 | 7.7 |
| サービス業 | 13.6 | ▲10.8 | 13.6 | 25.0 | 36.4 | | 25.0 | |
| その他業 | ▲11.1 | ▲11.1 | 11.1 | 22.2 | 22.2 | | 33.3 | 11.1 |

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2025年7月~12月)の状況

採算DI値は、製造業で16.2(前期比23.1)、非製造業で8.3(前期比6.0)、全業種で10.4(前期比11.0)となった。製造業、非製造業ともに今期、前期比とも好転となった。製造業、非製造業とも「価格転嫁」「受注の増加」「新規顧客の獲得」などが好転要因として挙げられた一方、非製造業のうち、卸売業、その他業で前期比、今期ともマイナスとなり、悪化要因として「燃料費の高騰」「人件費の高騰」や「顧客の業績悪化」などが挙げられた。

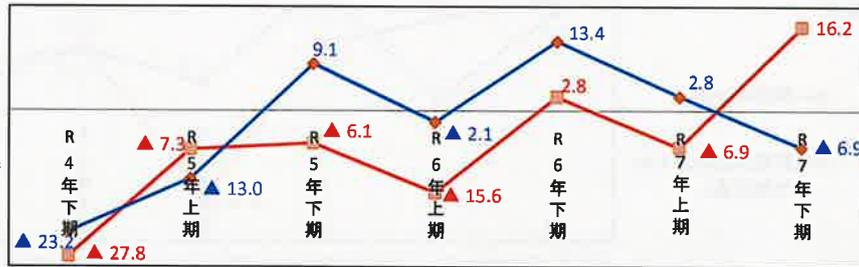
※前期比とは、前回調査(令和7年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

● 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

● 前期調査時点での今期見通し



来期(2026年1月~6月)の見通しDI値

(採算)

(単位:%)

| 業種 | 見通し | 今期比 | DI値 | DI値 | DI値 | DI値 | DI値 | DI値 |
|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 全業種 | 8.1 | ▲2.3 | 3.0 | 25.9 | 48.9 | 15.6 | 5.2 | |
| 製造業 | 2.7 | ▲13.5 | 32.4 | | 35.1 | | 18.9 | 10.8 |
| 非製造業 | 10.2 | ▲1.9 | 4.1 | 23.5 | 54.1 | | 14.3 | 8.1 |
| 建設業 | 0.0 | ▲6.7 | 20.0 | | 60.0 | | 13.3 | 6.7 |
| 小売業 | 23.5 | 0.0 | 29.4 | | 64.7 | | 5.9 | |
| 卸売業 | ▲15.4 | 0.0 | 7.7 | | 61.5 | | 15.4 | 7.7 |
| サービス業 | 20.5 | ▲6.9 | 9.1 | 27.3 | 47.7 | | 13.6 | |
| その他業 | ▲11.1 | 0.0 | 22.2 | | 44.4 | | 33.3 | |

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2026年1月~6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で▲13.5ポイント悪化の2.7、非製造業で1.9ポイント改善の10.2、全業種で▲2.3ポイント悪化の8.1と見通している。

製造業、非製造業とも「価格転嫁」や「受注増による売上の増加」などを理由に、来期見通しは好転傾向が示された。非製造業のうち、卸売業、その他業でマイナスとなり、悪化要因として「仕入価格の高騰」や「生産量の低下」、「競争の激化による利益率の悪化」が挙げられた。

【 資金繰りDI値 】

今期(2025年7月~12月)のDI値

| 業種 | 今期 | 前期比 | 今期 | 前期比 |
|-------|-------|-------|----|-----|
| 全業種 | 1.5 | 11.5 | | |
| 製造業 | ▲5.4 | 15.5 | | |
| 非製造業 | 4.1 | 8.7 | | |
| 建設業 | 0.1 | 15.5 | | |
| 小売業 | ▲5.9 | 0.0 | | |
| 卸売業 | ▲15.4 | ▲15.4 | | |
| サービス業 | 11.3 | 16.8 | | |
| その他業 | 22.2 | 11.1 | | |

(資金繰り)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

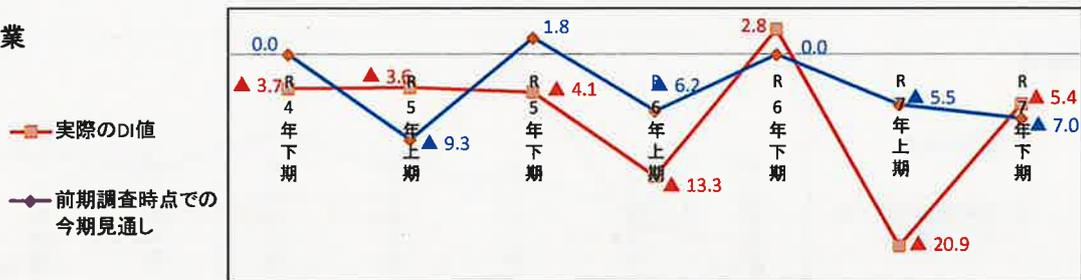
今期(2025年7月~12月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で▲5.4(前期比15.5)、非製造業で4.1(前期比8.7)、全業種で1.5(前期比11.5)となった。資金繰りDI値については、製造業で前期比プラスとなるもマイナス域を脱せず厳しい状況が伺えた。非製造業では、今期、前期比ともプラス域(好転、やや好転)で推移しているが小売業、卸売業でマイナスとなり、資金繰りは悪化傾向となっている。

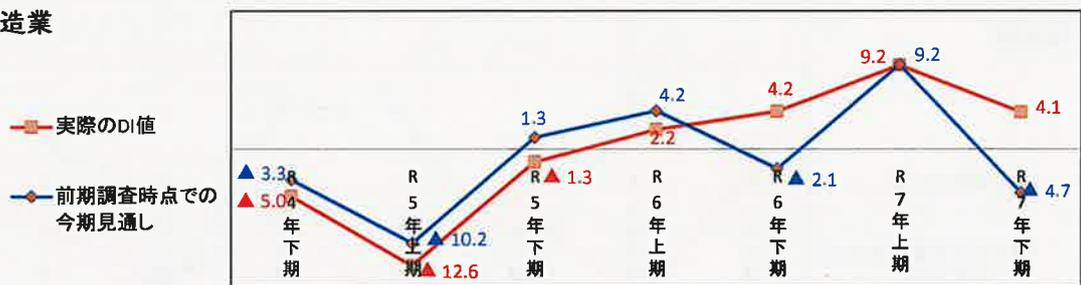
※前期比とは、前回調査(令和7年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業



非製造業

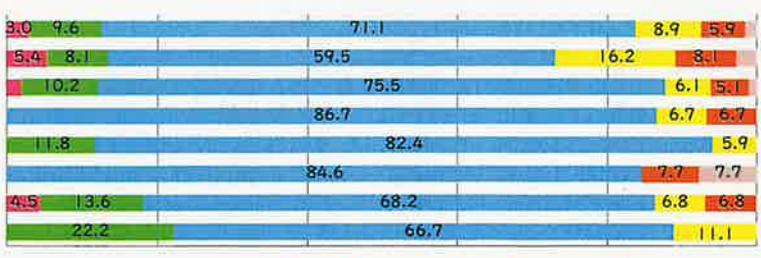


来期(2026年1月~6月)の見通しDI値

| 業種 | 見通し | 今期比 | 見通し | 今期比 |
|-------|-------|-------|-----|-----|
| 全業種 | ▲2.2 | ▲3.7 | | |
| 製造業 | ▲10.8 | ▲5.4 | | |
| 非製造業 | 1.0 | ▲3.1 | | |
| 建設業 | ▲13.4 | ▲13.5 | | |
| 小売業 | 5.9 | 11.8 | | |
| 卸売業 | ▲7.7 | 7.7 | | |
| サービス業 | 4.5 | ▲6.8 | | |
| その他業 | 11.1 | ▲11.1 | | |

(資金繰り)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2026年1月~6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲5.4ポイント悪化の▲10.8、非製造業で▲3.1ポイント悪化の1.0、全業種で▲3.7ポイント悪化の▲2.2と見通している。製造業では、今期比マイナスとなり、来期は悪化する見通しとなった。非製造業では、来期はプラス域(好転、やや好転)の見通しとなり、資金繰りは改善する見通しとなったが、今後、日銀の金利政策の動向によっては、資金繰りへの更なる影響も懸念され、注視していく必要がある。

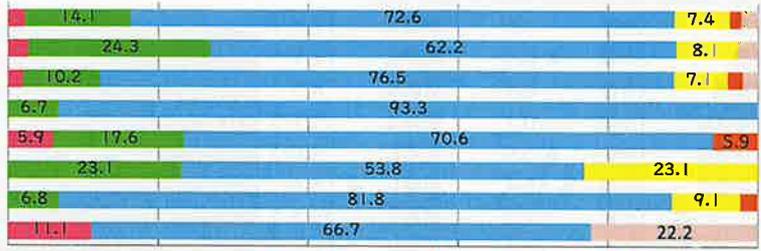
【在庫DI値】

今期(2025年7月~12月)のDI値

| 業種 | 今期 | 前期比 | 前期比 |
|-------|-------|-------|-----|
| 全業種 | ▲7.4 | 1.0 | |
| 製造業 | ▲18.9 | ▲4.9 | |
| 非製造業 | ▲3.1 | 2.6 | |
| 建設業 | ▲6.7 | 16.4 | |
| 小売業 | ▲17.6 | ▲17.7 | |
| 卸売業 | 0.0 | ▲8.4 | |
| サービス業 | 4.6 | 10.1 | |
| その他業 | ▲11.1 | 0.0 | |

(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2025年7月~12月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲18.9(前期比▲4.9)、非製造業で▲3.1(前期比2.6)、全業種で▲7.4(前期比1.0)となった。製造業、非製造業とも、今期もマイナス域を脱せず、依然として在庫の過剰傾向が続いている状況が伺えた。

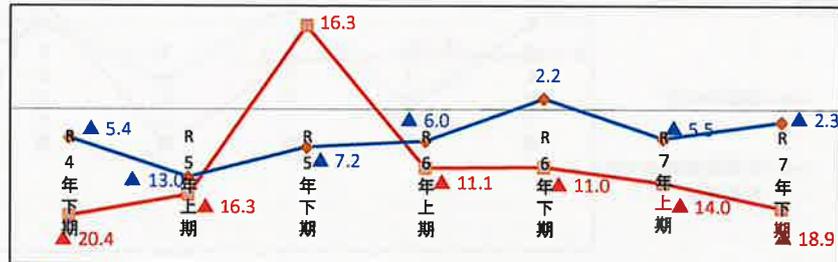
※前期比とは、前回調査(令和7年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

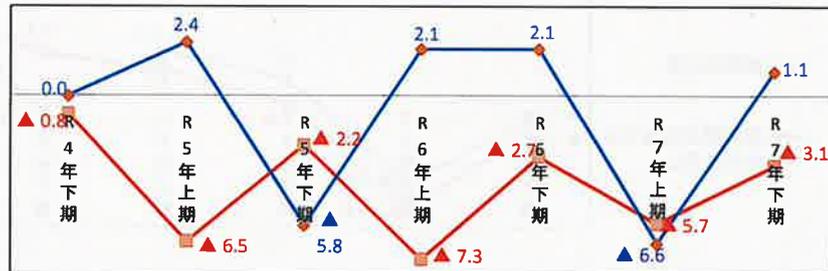
◆ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

◆ 前期調査時点での今期見通し

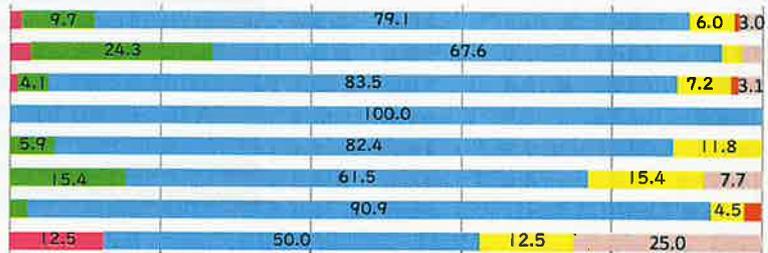


来期(2026年1月~6月)の見通しDI値

| 業種 | 見通し | 今期比 | 今期比 |
|-------|-------|------|-----|
| 全業種 | ▲4.5 | 2.9 | |
| 製造業 | ▲24.3 | ▲5.4 | |
| 非製造業 | 3.1 | 6.2 | |
| 建設業 | 0.0 | 6.7 | |
| 小売業 | 5.9 | 23.5 | |
| 卸売業 | 0.0 | 0.0 | |
| サービス業 | 4.5 | ▲0.1 | |
| その他業 | 0.0 | 11.1 | |

(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

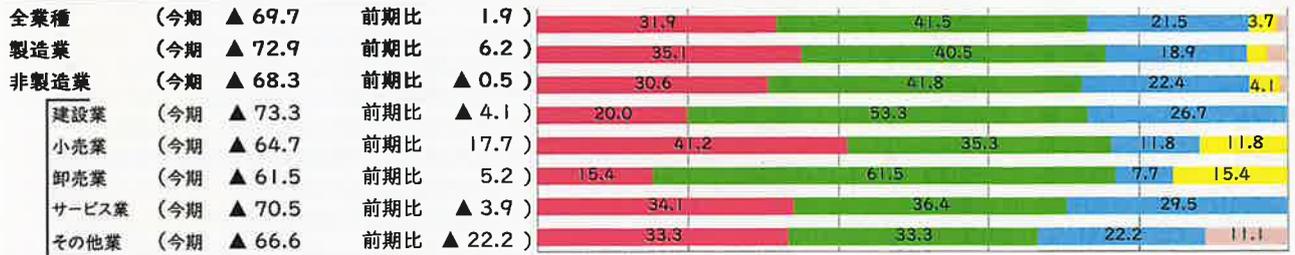
■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2026年1月~6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲5.4ポイント悪化の▲24.3、非製造業で6.2ポイント改善の3.1、全業種で2.9ポイント改善の▲4.5と見通している。製造業で来期は悪化の見通しとなり、非製造業では、在庫は、不足の傾向が示された。

【 仕入単価DI値 】

今期(2025年7月~12月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2025年7月~12月)の状況

仕入単価DI値は、製造業で▲72.9(前期比6.2)、非製造業▲68.3(前期比▲0.5)、全業種で▲69.7(前期比1.9)となった。製造業、非製造業ともに全業種で今期マイナスとなり、仕入単価の上昇が継続していることが伺えた。非製造業のうち、建設業、サービス業、その他業では前期比マイナスとなり、上昇傾向が強まった結果となった。

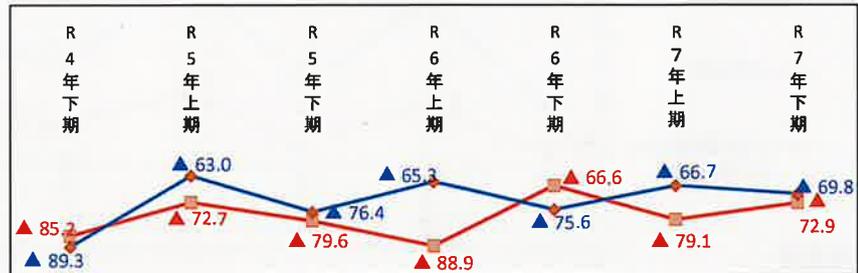
※前期比とは、前回調査(令和7年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

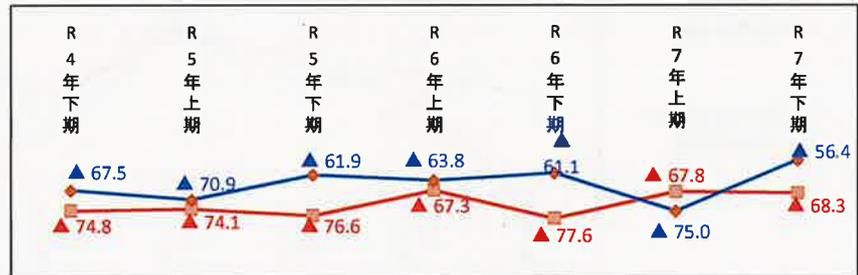
◆ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

◆ 前期調査時点での今期見通し



来期(2026年1月~6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2026年1月~6月)の見通し

今期と比較した仕入単価の見通しDI値は、製造業で5.4ポイント改善の▲67.5、非製造業で11.2ポイント改善の▲57.1、全業種で9.7ポイント改善の▲60.0と見通している。来期の見通しは、製造業、非製造業とも全業種で依然大幅なマイナス域(上昇、やや上昇)で推移し、今後も利益率の圧迫など影響は続くものと考えられる。

【 従業員数DI値 】

今期(2025年7月~12月)のDI値

| 業種 | 今期 | 前期比 | 変化 |
|-------|-------|-------|----|
| 全業種 | 3.0 | ▲7.0 | |
| 製造業 | 13.5 | ▲11.2 | |
| 非製造業 | ▲1.0 | ▲14.8 | |
| 建設業 | 0.0 | 0.0 | |
| 小売業 | ▲11.7 | ▲17.6 | |
| 卸売業 | 23.1 | ▲10.2 | |
| サービス業 | ▲4.5 | ▲18.4 | |
| その他業 | 0.0 | ▲22.2 | |

(従業員数)

(単位:%)



今期(2025年7月~12月)の状況

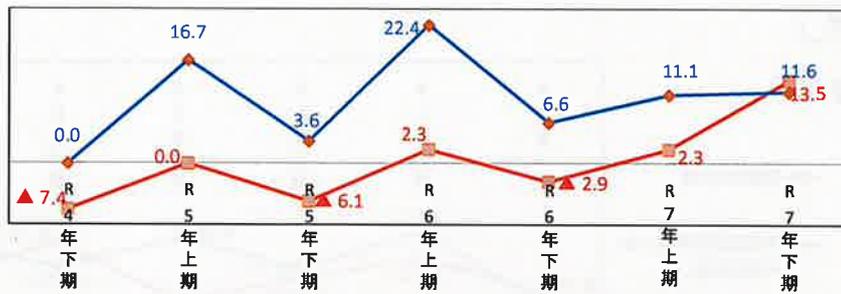
従業員数DI値は、製造業で13.5(前期比11.2)、非製造業で▲1.0(前期比▲14.8)、全業種で3.0(前期比▲7.0)となった。製造業では今期、前期比ともプラス(増加傾向)であり、非製造業では建設業を除く全ての業種で前期比はマイナスとなり、小売業、サービス業では、今期もマイナスとなり減少傾向を示した。一方で従業員の過不足については全業種(DI値+41.1)で大幅に不足しており、「人手不足」が深刻な経営課題となっていることが伺えた。

※前期比とは、前回調査(令和7年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

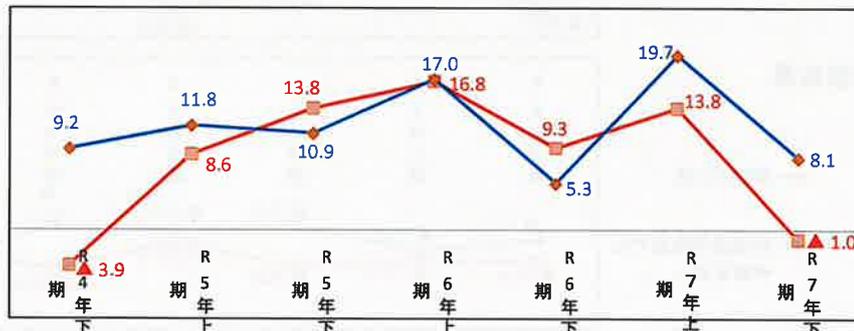
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し

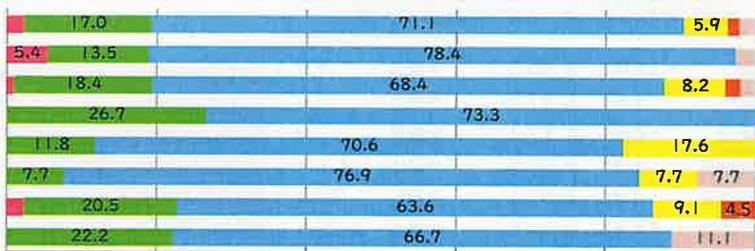


来期(2026年1月~6月)の見通しDI値

| 業種 | 見通し | 今期比 |
|-------|------|-------|
| 全業種 | 11.8 | 8.8 |
| 製造業 | 18.9 | 5.4 |
| 非製造業 | 9.2 | 10.2 |
| 建設業 | 26.7 | 26.7 |
| 小売業 | ▲5.8 | 5.9 |
| 卸売業 | 0.0 | ▲23.1 |
| サービス業 | 9.2 | 13.7 |
| その他業 | 22.2 | 22.2 |

(従業員数)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(2026年1月~6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で5.4ポイント上昇の18.9、非製造業で10.2ポイント上昇の9.2、全業種では8.8ポイント上昇の11.8と見通している。製造業、非製造業とも、今期比で増加傾向を示し、非製造業では小売業で今期比マイナスとなったが、建設業、サービス業、その他業でプラス域(増加、やや増加)の増加傾向となり、全体としては増加の見通しとなった。従業員の過不足については、来期においても全業種(DI値+35.1)で不足の見通しとなっており、全体として従業員の増加を見通しているものの「人手不足」の解消には至らず、引き続き深刻な課題と捉えられていることが伺えた。

【 設備DI値 】

今期(2025年7月~12月)のDI値

| 業種 | 今期 | 前期比 | 前期比 |
|-------|------|------|-----|
| 全業種 | 17.0 | 4.8 | |
| 製造業 | 13.5 | ▲7.5 | |
| 非製造業 | 18.4 | 10.4 | |
| 建設業 | 13.3 | 13.3 | |
| 小売業 | 11.8 | 0.0 | |
| 卸売業 | 23.1 | 31.4 | |
| サービス業 | 18.2 | 7.1 | |
| その他業 | 33.3 | 11.1 | |



今期(2025年7月~12月)の状況

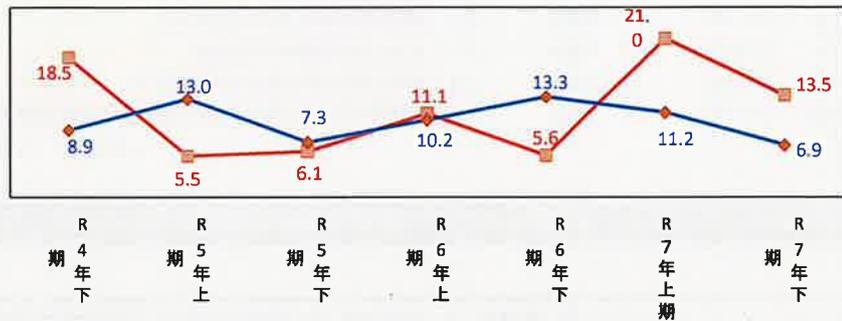
設備DI値は、製造業で13.5(前期比▲7.5)、非製造業で18.4(前期比10.4)、全業種で17.0(前期比4.8)となった。製造業、非製造業ともに今期全業種ともプラス域で推移し、前期に引き続き設備不足の傾向が伺えた。

※前期比とは、前回調査(令和7年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値
◆ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値
◆ 前期調査時点での今期見通し



来期(2026年1月~6月)の見通しDI値

| 業種 | 見通し | 今期比 | 今期比 |
|-------|------|-------|-----|
| 全業種 | 9.7 | ▲7.3 | |
| 製造業 | 2.7 | ▲10.8 | |
| 非製造業 | 12.3 | ▲6.1 | |
| 建設業 | 6.7 | ▲6.6 | |
| 小売業 | 5.9 | ▲5.9 | |
| 卸売業 | 0.0 | ▲23.1 | |
| サービス業 | 15.8 | ▲2.4 | |
| その他業 | 33.3 | 0.0 | |



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(2026年1月~6月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で▲10.8ポイントの2.7、非製造業で▲6.1ポイントの12.3、全業種で▲7.3ポイントの9.7と見通しており、来期においても製造業、非製造業の卸売業を除き全業種で設備不足が続く見通しとなった。

【 新規設備投資 】

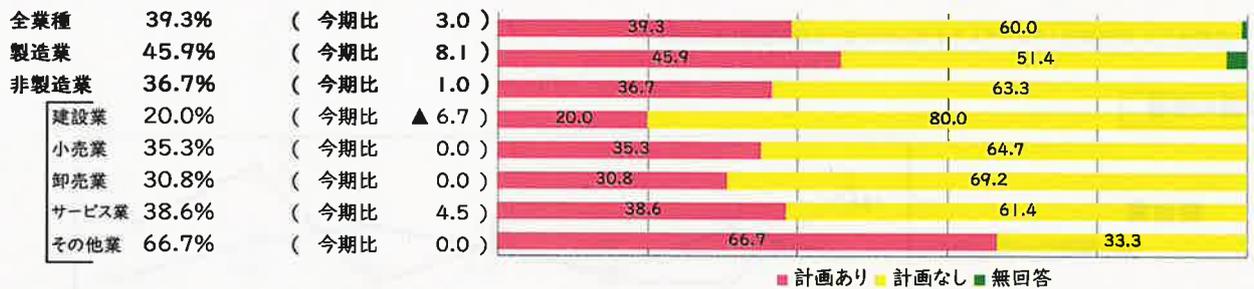
◆今期(2025年7月～12月)の新規設備投資を実施した割合

(単位:%)



◆来期(2025年7月～12月)の新規設備投資を計画している割合

(単位:%)



【 直面している課題 】

| | 製造業 | 非製造業 | 建設業 | 小売業 | 卸売業 | サービス業 | その他業 |
|------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 大企業の進出による競争の激化 | 2.7% | 3.1% | 0.0% | 0.0% | 7.7% | 4.5% | 0.0% |
| 需要の停滞 | ③ 27.0% | 27.6% | 13.3% | ① 29.4% | ① 61.5% | 18.2% | ① 44.4% |
| 為替差損 | 2.7% | 1.0% | 0.0% | 5.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 売上単価の低下 | 5.4% | 3.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 6.8% | 0.0% |
| 新規参入業者の増加 | 8.1% | 8.2% | 6.7% | 0.0% | 7.7% | 11.4% | 11.1% |
| 製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応 | 21.6% | 8.2% | 6.7% | 5.9% | 7.7% | 9.1% | 11.1% |
| 生産設備の不足・老朽化 | 24.3% | 4.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 6.8% | 11.1% |
| 原材料の不足 | 10.8% | 5.1% | 6.7% | 17.6% | 0.0% | 2.3% | 0.0% |
| 仕入・原材料単価の上昇 | ① 45.9% | ① 37.8% | ② 40.0% | ① 29.4% | ② 46.2% | ② 38.6% | ② 33.3% |
| 下請負単価の上昇 | 0.0% | 8.2% | 20.0% | 0.0% | 15.4% | 2.3% | ③ 22.2% |
| 官公需要の停滞 | 0.0% | 4.1% | 20.0% | 0.0% | 0.0% | 2.3% | 0.0% |
| 取引条件の悪化 | 0.0% | 3.1% | 0.0% | 5.9% | 0.0% | 2.3% | 11.1% |
| 金利負担の増加 | 5.4% | 4.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 4.5% | ③ 22.2% |
| 事業資金の借入難 | 5.4% | 4.1% | 6.7% | 0.0% | 0.0% | 6.8% | 0.0% |
| 購買力の他地域への流出 | 2.7% | 1.0% | 0.0% | 5.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 在庫の過剰 | 2.7% | 2.0% | 0.0% | 0.0% | 15.4% | 0.0% | 0.0% |
| 価格への転嫁難 | 18.9% | 10.2% | 0.0% | 5.9% | 23.1% | 9.1% | ③ 22.2% |
| 人件費の増加 | ② 40.5% | ② 35.7% | ③ 26.7% | ① 29.4% | 15.4% | ① 50.0% | ③ 22.2% |
| 設備の過剰 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 代金回収の悪化 | 2.7% | 2.0% | 6.7% | 0.0% | 0.0% | 2.3% | 0.0% |
| 店舗・施設の老朽化 | 0.0% | 1.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.3% | 0.0% |
| 従業員・熟練技術者の確保難 | 2.7% | 10.2% | 0.0% | 23.5% | 0.0% | 11.4% | 11.1% |
| 燃料費(電気料金を含む)の高騰 | 21.6% | ③ 31.6% | ① 60.0% | 23.5% | ③ 30.8% | ③ 27.3% | ③ 22.2% |
| コロナの影響 | 5.4% | 6.1% | 0.0% | 5.9% | 0.0% | 9.1% | 11.1% |
| ウクライナ情勢の影響 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 米国関税措置に関する影響 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他 | 0.0% | 4.1% | 13.3% | 0.0% | 0.0% | 2.3% | 11.1% |

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

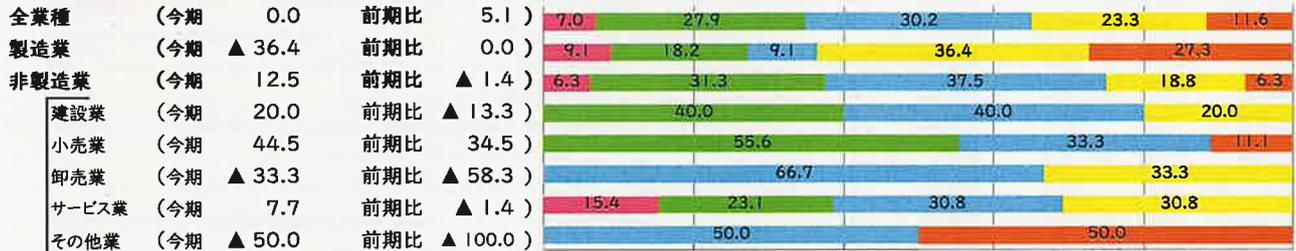
景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2025年7月1日から2025年12月31日（2025年（令和7年）下期）
- 調査実施期間：2026年1月4日から2026年2月3日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模事業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 340 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：43（回答率 12.6%）

| 業種 | 従業員数 | | 合計 | |
|------|-------|-------|----|----|
| | 0~5人 | 6~20人 | | |
| 製造業 | 4 | 7 | 11 | |
| 建設業 | 3 | 2 | 5 | |
| 非製造業 | 小売業 | 9 | 9 | |
| | 卸売業 | 3 | 3 | |
| | サービス業 | 13 | 0 | 13 |
| | その他業 | 2 | 0 | 2 |
| 合計 | 34 | 9 | 43 | |

業況DI

今期（2025年7月～12月）のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期（2026年1月～6月）の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

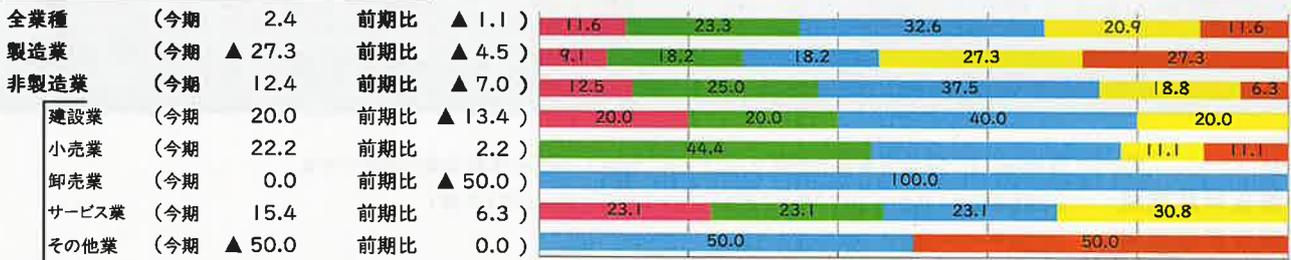
■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

売上DI

今期(2025年7月~12月)のDI値

(売上)

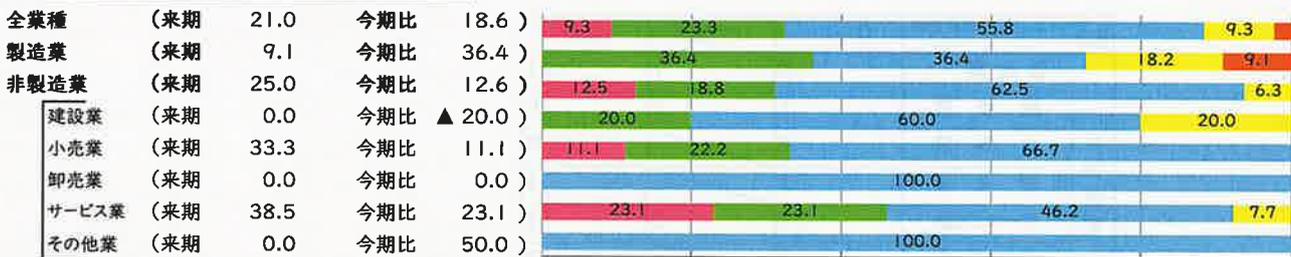
(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2026年1月~6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

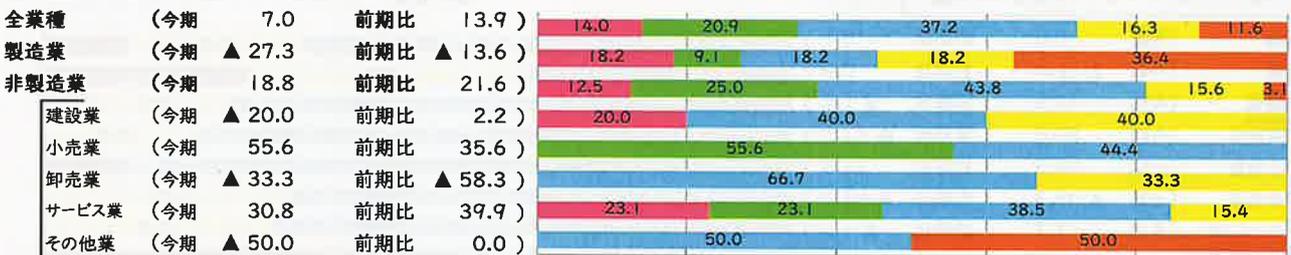
■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

採算DI

今期(2025年7月~12月)のDI値

(採算)

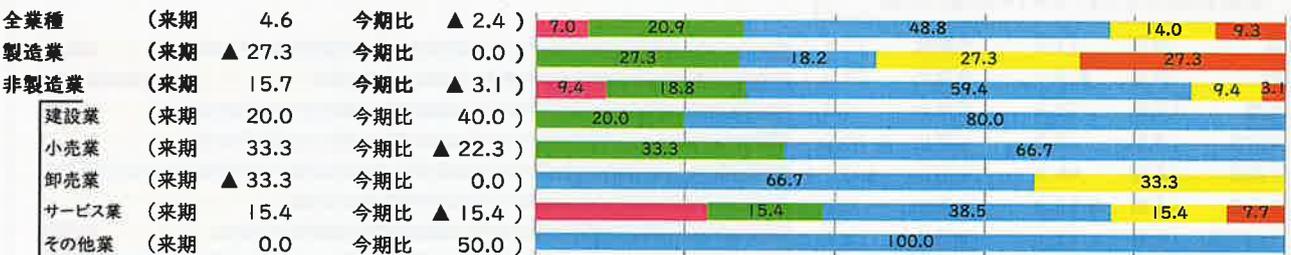
(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(2026年1月~6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

資金繰りDI

今期(2025年7月~12月)のDI値

| | |
|-------|--------------------|
| 全業種 | (今期 0.0 前期比 19.0) |
| 製造業 | (今期 ▲27.3 前期比 0.1) |
| 非製造業 | (今期 9.3 前期比 23.2) |
| 建設業 | (今期 ▲20.0 前期比 2.2) |
| 小売業 | (今期 0.0 前期比 30.0) |
| 卸売業 | (今期 0.0 前期比 ▲50.0) |
| サービス業 | (今期 30.8 前期比 49.0) |
| その他業 | (今期 0.0 前期比 0.0) |

(資金繰り)

(単位:%)

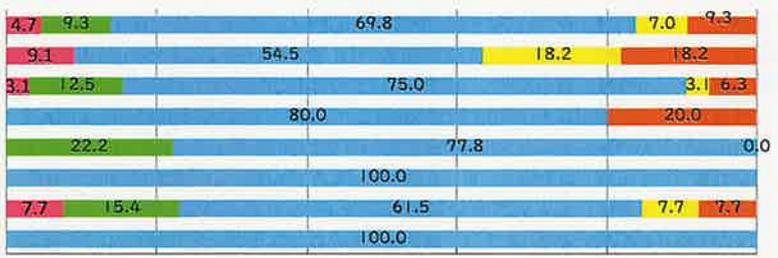


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(2026年1月~6月)の見通しDI値

| | |
|-------|--------------------|
| 全業種 | (来期 ▲2.3 今期比 ▲2.3) |
| 製造業 | (来期 ▲27.3 今期比 0.0) |
| 非製造業 | (来期 6.2 今期比 ▲3.1) |
| 建設業 | (来期 ▲20.0 今期比 0.0) |
| 小売業 | (来期 22.2 今期比 22.2) |
| 卸売業 | (来期 0.0 今期比 0.0) |
| サービス業 | (来期 7.7 今期比 ▲23.1) |
| その他業 | (来期 0.0 今期比 0.0) |



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

在庫DI

今期(2025年7月~12月)のDI値

| | |
|-------|----------------------|
| 全業種 | (今期 ▲3.4 前期比 11.4) |
| 製造業 | (今期 ▲9.2 前期比 10.8) |
| 非製造業 | (今期 0.0 前期比 11.8) |
| 建設業 | (今期 ▲33.3 前期比 ▲33.3) |
| 小売業 | (今期 10.0 前期比 37.3) |
| 卸売業 | (今期 25.0 前期比 25.0) |
| サービス業 | (今期 9.1 前期比 19.1) |
| その他業 | (今期 0.0 前期比 0.0) |

(在庫)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2026年1月~6月)の見通しDI値

| | |
|-------|----------------------|
| 全業種 | (来期 ▲4.7 今期比 ▲1.3) |
| 製造業 | (来期 ▲27.3 今期比 ▲18.1) |
| 非製造業 | (来期 3.1 今期比 3.1) |
| 建設業 | (来期 0.0 今期比 33.3) |
| 小売業 | (来期 0.0 今期比 ▲10.0) |
| 卸売業 | (来期 0.0 今期比 ▲25.0) |
| サービス業 | (来期 7.7 今期比 ▲1.4) |
| その他業 | (来期 0.0 今期比 0.0) |

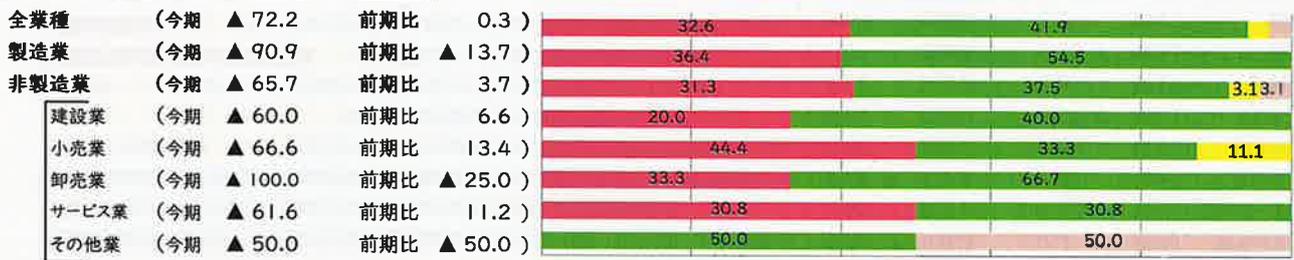


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

仕入単価DI

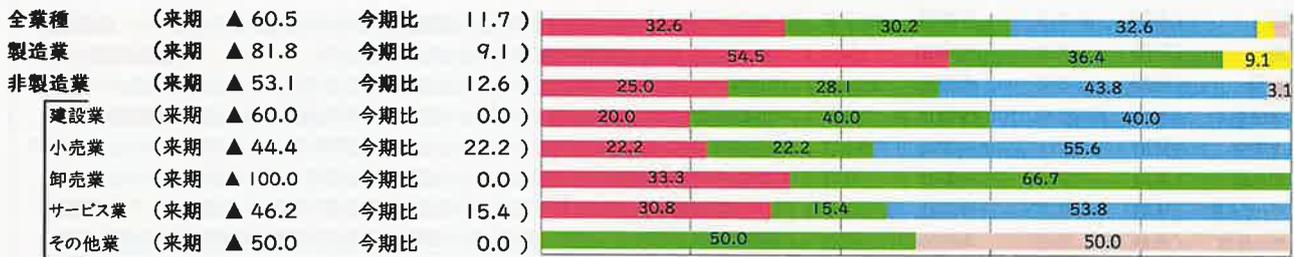
今期(2025年7月~12月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2026年1月~6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

従業員数DI

今期(2025年7月~12月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2026年1月~6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

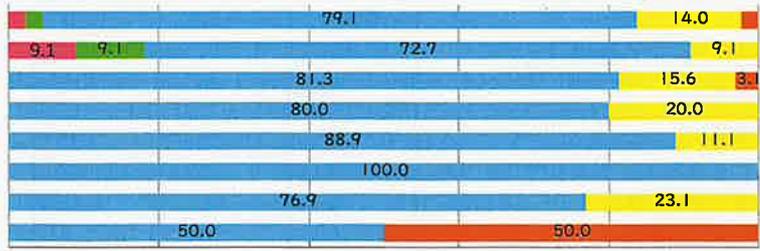
■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

設備DI

今期(2025年7月~12月)のDI値

| | |
|-------|---------------------|
| 全業種 | (今期 11.7 前期比 ▲0.4) |
| 製造業 | (今期 ▲9.1 前期比 ▲36.4) |
| 非製造業 | (今期 18.7 前期比 15.9) |
| 建設業 | (今期 20.0 前期比 20.0) |
| 小売業 | (今期 11.1 前期比 1.1) |
| 卸売業 | (今期 0.0 前期比 0.0) |
| サービス業 | (今期 23.1 前期比 23.1) |
| その他業 | (今期 50.0 前期比 50.0) |

設備 (単位:%)

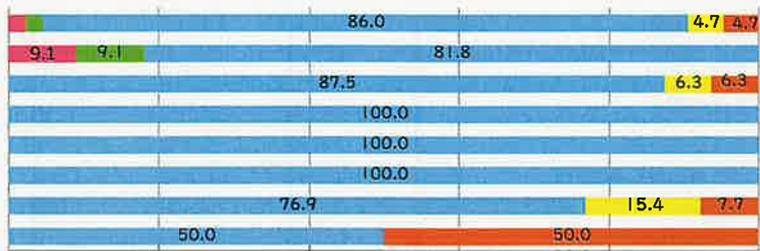


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2026年1月~6月)の見通しDI値

| | |
|-------|---------------------|
| 全業種 | (来期 4.8 今期比 ▲6.9) |
| 製造業 | (来期 ▲18.2 今期比 ▲9.1) |
| 非製造業 | (来期 12.6 今期比 ▲6.1) |
| 建設業 | (来期 0.0 今期比 ▲20.0) |
| 小売業 | (来期 0.0 今期比 ▲11.1) |
| 卸売業 | (来期 0.0 今期比 0.0) |
| サービス業 | (来期 23.1 今期比 0.0) |
| その他業 | (来期 50.0 今期比 0.0) |



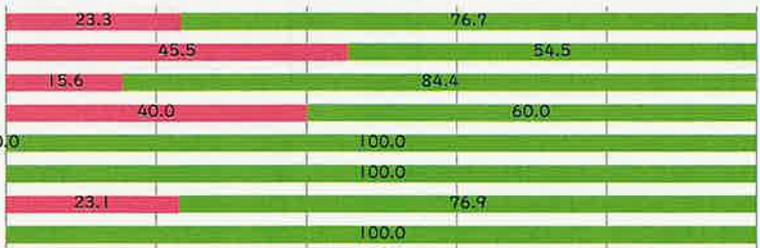
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(2025年7月~12月)の新規設備投資を実施した割合

| | |
|-------|---------------------|
| 全業種 | (今期 23.3% 前期比 ▲0.8) |
| 製造業 | (今期 45.5% 前期比 13.7) |
| 非製造業 | (今期 15.6% 前期比 ▲3.8) |
| 建設業 | (今期 40.0% 前期比 17.8) |
| 小売業 | (今期 0.0% 前期比 ▲30.0) |
| 卸売業 | (今期 0.0% 前期比 0.0) |
| サービス業 | (今期 23.1% 前期比 4.9) |
| その他業 | (今期 0.0% 前期比 0.0) |



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2025年7月~12月)の新規設備投資を計画している割合

| | |
|-------|----------------------|
| 全業種 | (来期 25.6% 今期比 2.3) |
| 製造業 | (来期 27.3% 今期比 ▲18.2) |
| 非製造業 | (来期 25.0% 今期比 9.4) |
| 建設業 | (来期 20.0% 今期比 ▲20.0) |
| 小売業 | (来期 11.1% 今期比 11.1) |
| 卸売業 | (来期 0.0% 今期比 0.0) |
| サービス業 | (来期 38.5% 今期比 15.4) |
| その他業 | (来期 50.0% 今期比 50.0) |



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

直面している課題

| | 製造業 | | 非製造業 | | 建設業 | 小売業 | 卸売業 | サービス業 | その他業 | | | | |
|------------------------|-----|-------|------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| | | | | | | | | | | | | | |
| 大企業の進出による競争の激化 | | 9.1% | | 3.1% | | 0.0% | | 0.0% | 7.7% | 0.0% | | | |
| 需要の停滞 | ② | 36.4% | | 9.4% | | 0.0% | 11.1% | ② | 33.3% | 0.0% | ① | 50.0% | |
| 為替差損 | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | 0.0% | | |
| 売上単価の低下 | | 9.1% | | 3.1% | | 0.0% | | 0.0% | 7.7% | | 0.0% | | |
| 新規参入業者の増加 | | 0.0% | | 9.4% | | 0.0% | | 0.0% | ② | 23.1% | | 0.0% | |
| 製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応 | ② | 36.4% | | 6.3% | | 0.0% | | 0.0% | 7.7% | | ① | 50.0% | |
| 生産設備の不足・老朽化 | | 9.1% | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | | 0.0% | |
| 原材料の不足 | | 0.0% | | 6.3% | | 0.0% | 11.1% | | 0.0% | | 7.7% | 0.0% | |
| 仕入・原材料単価の上昇 | ① | 45.5% | ① | 40.6% | ① | 60.0% | ① | 33.3% | ① | 66.7% | ① | 38.5% | 0.0% |
| 下請負単価の上昇 | | 0.0% | | 3.1% | | 0.0% | | 0.0% | 7.7% | | | 0.0% | |
| 官公需要の停滞 | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | | 0.0% | |
| 取引条件の悪化 | | 0.0% | | 3.1% | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | ① | 50.0% | |
| 金利負担の増加 | | 9.1% | | 3.1% | | 0.0% | | 0.0% | 7.7% | | | 0.0% | |
| 事業資金の借入難 | | 9.1% | | 6.3% | ② | 20.0% | | 0.0% | 7.7% | | | 0.0% | |
| 購買力の他地域への流出 | | 9.1% | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | | 0.0% | |
| 在庫の過剰 | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | | 0.0% | |
| 価格への転嫁難 | | 18.2% | | 3.1% | | 0.0% | | ② | 33.3% | | 0.0% | 0.0% | |
| 人件費の増加 | ② | 36.4% | ③ | 18.8% | ② | 20.0% | ② | 22.2% | 0.0% | ② | 23.1% | 0.0% | |
| 設備の過剰 | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | | 0.0% | |
| 代金回収の悪化 | | 9.1% | | 3.1% | | 0.0% | | 0.0% | 7.7% | | | 0.0% | |
| 店舗・施設の老朽化 | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | | 0.0% | |
| 従業員・熟練技術者の確保難 | | 0.0% | | 12.5% | | 0.0% | ② | 22.2% | 0.0% | 7.7% | ① | 50.0% | |
| 燃料費(電気料金を含む)の高騰 | | 18.2% | ② | 21.9% | ① | 60.0% | ② | 22.2% | 0.0% | 15.4% | | 0.0% | |
| コロナの影響 | | 0.0% | | 6.3% | | 0.0% | 11.1% | | 0.0% | | ① | 50.0% | |
| ウクライナ情勢の影響 | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | | 0.0% | |
| 米国関税措置に関する影響 | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | | 0.0% | 0.0% | | | 0.0% | |
| その他 | | 0.0% | | 6.3% | ② | 20.0% | | 0.0% | 7.7% | | | 0.0% | |